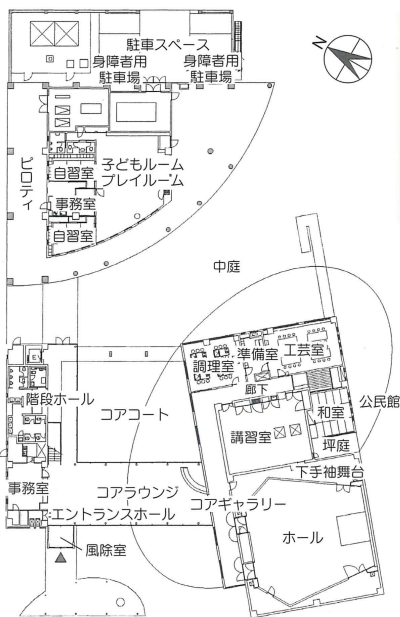


幕張ベイタウン・コア（関東地区）



ホール

所在地 : 千葉県千葉市美浜区打瀬2-13
 敷地面積 : 4,305.54 m²
 建築面積 : 1,733.22 m²
 延床面積 : 2,080.80 m²
 構造・階数 : RC造一部S造 地上2階
 事業者 : 千葉県企業庁
 設計者 : (株)設計・計画高谷時彦事務所
 施工者 : 新日本建設(株)
 竣工年月 : 平成14年2月
 総事業費 : 1,180百万円

市立公民館、図書館分館、子どもルーム（学童保育）の三つの施設からなるコミュニティ施設です。

街並みとの連続性に配慮しつつ、隣地の公園とあわせて一つの街区を形成することを試みた建物は、管理主体の異なる施設を機能の分離を図りながらも、相互の活動の雰囲気がかかるよう計画され、内部、外部を問わず自由に使える場所が用意されています。

住民主導の話し合いで設計が進められ、公民館として稀な生音用コンサートホールを住民の希望によって実現したことや、現在まで住民自らが運営に参加して地域に留まらない文化情報を発信していることは、新たな公共施設のあり方を示していると評価されました。

ともに創り上げた幕張ベイタウン・コア

私達住民は運良く高谷時彦先生、千葉県企業庁とともに幕張ベイタウン・コアという住民コミュニティ施設を立ち上げる機会に恵まれました。それはバブル崩壊で失われた壮大な夢の再生であり、街で暮らす人々の想いの実現でした。私達が人々のニーズをもとに打ち出した『小さいながらもキラリと光る要素としての「生音重視のホール」』というコンセプトは企業庁に受け入れられ、高谷先生には永田音響設計とともに優れた音響を備えたホールをもつコミュニティ施設に仕上げて頂きました。県・建築家・住民で繰り返しオープンな会議を開き、勝手な要望を受けて何度も設計し直して頂いた

ことを懐かしく思い出します。

この住民参加のスタンスは一流コンサートピアノを住民の手で購入する運動へと引き継がれ、さらに現在もさまざまなコンサートの運営やコミュニティ施設の運営への住民参加が行われています。「コア」というかかわった人々の想いの結晶は、今、明確に創意の場として機能しています。この活動をさらに広げ、人材発掘・育成を行い、ベイタウンからの文化発信を开花させられればと考えています。

—— コミュニティコア研究会共同代表 隅山雄介